

平成26年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、坂井輪図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：坂井輪図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価		外部評価
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ確かな情報提供を行う。	レファレンス件数が西区で合計963件から1,042件と昨年度比で8%増加した。	坂井輪図書館では、レファレンス専用カウンターを独立させたことで、きめ細かい対応をすることができるようになった。また、坂井輪休館中に坂井輪利用者が内野・黒埼図書館を利用したことでレファレンス件数が増加した。	1 大変評価する。 86% 2 ある程度評価する。 14% 3 評価できない。 0%	・リニューアルを機に、これまで以上のきめ細やかなサービスも可能となり、意欲をもって取り組み成果も見られた。 ・レファレンスサービスの有用性をアピールできていることは素晴らしい。職員司書の専門性が問われるサービスをどんどん充実させてほしい。 ・より多くの方が利用する気になるようにアピールしてほしい。 ・独立したレファレンス専用カウンターは職員に声をかけやすくして良い。貸出・返却と一体になっているとレファレンスは利用を控えてしまう。内野では返却カウンターにレファレンスの利用お知らせがあったが、貸出カウンターにあるとわかりやすい。
	◆館の重点評価項目 ・レファレンスサービスのPR	レファレンスの広報に努める。	坂井輪図書館では、改装に合わせて専用カウンターを設けたことにより積極的に声をかけ、坂井輪図書館では69%の増加となった。	貸出返却カウンターとレファレンス専用カウンターを分け、掲示物でPRしたり、レファレンスインタビューを丁寧に行ない、レファレンスの周知を図った。	1 大変評価する。 86% 2 ある程度評価する。 14% 3 評価できない。 0%	・来館者とスタッフの双方向の情報交流による大きな成果があった。 ・専用カウンターの設置は大変有効であり、それが数値にも表れていることで評価できる。 ・2階を主に利用する方にも3階のレファレンスカウンターの利用をもっと周知してほしい。本棚のあいだなどにも小型の掲示があるとよいと思った。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。	積極的に西区郷土行政資料を収集し、蔵書冊数を増やした。8,017冊から8,906冊と11%増加した。	郷土資料の収集を積極的に行った。	1 大変評価する。 57% 2 ある程度評価する。 43% 3 評価できない。 0%	・今後、郷土資料収集の目的をより明確にし、他の収蔵機関との住み分けや連携等について検討していく必要がある。 ・地域資料の組織化が目に見える形で提示されると嬉しい。 ・今後も収集を力を入れて継続し、展示も充実させていってほしい。展示と広報が収集につながると思う。
	◆館の重点評価項目 ・郷土資料・行政資料の収集と整理	・坂井輪図書館の郷土行政資料を積極的に収集する。	西区の区報を通じて郷土資料の寄贈を呼びかけたり、コミ協等の広報誌を積極的に収集した。	坂井輪図書館では徐々に蔵書冊数を増加していく予定である。平成26年度は7%増だったが、今後も西区の中心図書館として積極的に収集を図る。	1 大変評価する。 57% 2 ある程度評価する。 43% 3 評価できない。 0%	・今後、郷土資料収集の目的をより明確にし、他の収蔵機関との住み分けや連携等について検討していく必要がある。【同上】 ・蔵書冊数をさらに増やしてほしい。「祭」をテーマに盆踊りの本と地域の盆踊りのイベントチラシをいっしょに置く展示はよかった。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	平成27年から西区の本格的な実施に向けて、中央図書館担当者から引継ぎを受け準備を行った。	平成26年度は、中央図書館担当者と坂井輪図書館担当者でブックスタート事業を行い、平成27年4月からスムーズに移行できた。	1 大変評価する。 100% 2 ある程度評価する。 0% 3 評価できない。 0%	・大切な意義と役割を担う事業であり、今後とも充実した取り組みを続けてほしい。 ・とても良い取り組みと思われるので、より充実させてほしい。 ・絵本の読み聞かせを体験することで、育児の一助になると期待できる。また、地域の図書館を紹介することができる大切な場でもある。継続を期待する。 ・今後も積極的に掲示を期待する。保護者間の交流と休息の場と時間になればと思う。
	◆館の重点評価項目 保育園、幼稚園、子育て支援センターへの支援	保育園や子育て支援センターへ団体貸出や講師派遣、情報提供などを行う。	保育園、幼稚園への団体貸出の他、地域子育て支援センターへ講師派遣や情報提供を行った。	保育園や子育て支援センターと良好な関係を築くことができた。	1 大変評価する。 71% 2 ある程度評価する。 29% 3 評価できない。 0%	・大切な意義と役割を担う事業であり、今後とも充実した取り組みを続けてほしい。【同上】 ・施設間のつながりや情報共有は大変評価できる。今後も期待する。 ・労力の大きい取り組みかもしれないが、今後も継続を期待する。現在とても重要な分野で図書館は大きな関わり、働きができると思う。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・西区自治協：講演会実施 ・公民館：絵本講座、児童向けイベント実施 ・ボランティア：黒埼図書館まつり実施	区役所やその他の機関、民間団体等との連携を図った。引き続き拡充を図る。	1 大変評価する。 57% 2 ある程度評価する。 43% 3 評価できない。 0%	・区の中心館となり、活動の幅を広げ、地域住民との関わりを深めることができた。 ・民間との連携という、今まであまり進められていなかった事業に積極的に取り組む姿勢を進めていってほしい。 ・各種イベントに出展するのは重要だが、より多くの方が利用できるようアピールしてほしい。 ・自治協講演会では、展示などや資料提供、講師選定においても重要な役割を担っていた。今後も協働・連携を期待する。 ・まちや店、地域の人々を行う事業やイベントによりコミュニティ形成のハブとなってほしい。今後とも期待する。 ・パートナーシップをとる相手の選び方が限られていると思う。市民の知的活動を支える存在として、もう少し大胆にチャレンジしていってほしいと思う。
	◆館の重点評価項目 ボランティアやその他民間を含む関係団体との連携の強化	団体登録の増加のために施設や商店街にPRを行う。	高齢者施設や商店街等へ団体貸出制度をPRして新規登録をしてもらい、司書がセレクトして本を貸出する仕組みづくりを行った。	今後は、検証を行いながら拡大していきたい。	1 大変評価する。 57% 2 ある程度評価する。 43% 3 評価できない。 0%	・区の中心館となり、活動の幅を広げ、地域住民との関わりを深めることができた。【同上】 ・他団体との連携はそれぞれの事情もあり難しいと思うが、ぜひ取り組んでいただきたい。 ・今後も団体貸出が広がればよいと思う。